

グアム国際空港、仙台空港との姉妹空港締結を更新 ～グアム政府観光局長が調印式に参加、さらなる交流の発展を目指す～



写真左より：グアム政府観光局長 ジョン・ネイサン・テナイト、ペドロ・ロイ・マルチネス グアム国際空港局副社長、岩井卓也 仙台国際空港株式会社代表取締役・千代空港ビル株式会社代表取締役社長、遠藤信哉 宮城県土木部長

グアム国際空港は2月12日（金）、空港内において、仙台空港との姉妹空港提携の覚書を更新する調印式を行いました。

グアム国際空港は、平成24年11月19日に日本国内の空港の中で初めて仙台空港と姉妹空港提携を締結し、以来相互の経済に良い効果が生まれるよう協力してまいりました。今回の覚書の更新では、空港経営・顧客サービスの情報交換や、相互の旅客サービス拡充のための交流活動の協力などを通じて、宮城県とグアムの更なる交友関係の発展とともに両地域の平和と繁栄を目指しています。

調印文書は、仙台国際空港株式会社代表取締役・仙台空港ビル株式会社代表取締役社長、岩井卓也氏と、グアム国際空港局社長のチャールズ・H・アダⅡ世が締結者となり、調印式は宮城県土木部長の遠藤信哉氏、グアム政府観光局長のジョン・ネイサン・テナイトが立ち会いのもと、執り行われました。テナイト局長は提携の更新を祝し、これからも多くの方々の渡航と、日米交流の促進にむけた期待を伝えました。

グアム―仙台間は昨年就航25周年を迎え、現在はユナイテッド航空が日・木の週2便で運航しています。